

きんもくせい

平成22年 学校教育だより

March **3** 第304号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線623)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



「いにしえの～」 「はい！」 —百人一首大会— 写真提供/本郷中学校

木

勝瀬中学校 二年

中山 港斗

大きくて太い木

その大きな体を支える根

長い時間をかけて

少しずつ

少しずつ

大きくなっていく

地面にぐっと根をおろし

力強く生きている木

雨にも

風にも

耐えて

堂々としている木

自分も

木のように生きていこう

理解を助ける工夫

「三角形の合同条件」では、ともすると合同条件を丸暗記し、活用するだけの学習になりがちである。証明という単元の入り口であるこの合同条件で苦手意識をなくし、合同条件の意味と必要性を楽しみながら考えさせていきたいと考えました。合同条件は、簡単に答えることができます。しかし、なぜそれが合同条件になるのかということを知っている子供は意外と少ないものです。その理由を明確にし、自分で求めることで、ただ暗記するより、求めることの喜びや試行錯誤の中で培う考える力の育成にもなります。今回の授業では、「三角形に割れたガラス」と同じものを頼まなければいけないという設定のもと「理解を助ける工夫」という実践を行ってみました。

【三角形の合同条件】

- ① 3辺がそれぞれ等しい。
- ② 2辺とその間の角がそれぞれ等しい。
- ③ 1辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

見つけよう

指導者 勝瀬中学校教諭 齋藤 昭暁

【問題】※口頭で説明

「ある日、ガラスを割ってしまった。君たちはガラス屋に連絡しなければいけない。その割れたガラスはちょうど三角形の形に割れてしまった。しかし、連絡するための携帯電話の充電は残り数十秒しかない。ガラス屋に伝えられることは限られている。さあ、どうやって伝えればいいたろう？」

普段の授業とは違う設定により楽しい雰囲気授業になりました。そこで次のような

特別支援教育

なの花ショップ

諏訪小学校教諭 相澤 久子

諏訪小学校は周りを田圃に囲まれ、校庭や栽培園も広く、豊かな自然に恵まれています。

栽培活動は、春のジャガイモの植え付けから始まります。先生や地域の方々から食べていただく日を思いながら、ワクワクドキドキの植え付けになります。準備が良かったのか、今年は大きなお芋がどっさり。いよいよ明日はカレーシ

ヨップ。自分たちで収穫した野菜を洗って準備スタート。当日は、お家の方にも少し手伝っていたりしながら、野菜を切ったりサラダに挑戦したり、いつもと違う集中力にビックリ。美味しそうな匂いのする頃には皆少々お疲れモードでした。

開店の時刻、お客様は先生方。いつも遊びに行くデイサービスやパレット、そして学童の先生、何よりいつもの生

活や登下校でお世話になっている指導員さんや地域の皆様です。いらつしやいませ(二年)

食券を受け取る(二年)席への案内(五年)飲み物(六年)と分担も自分たちで決め、大勢のお客様に精一杯のサービスをしていました、「おいしかったよ。」「もちそうさま。」

一言に笑顔がはじけました。さあ、日射しがめつかり明るくなりました。今年も地域の皆さんに見守られ、自分らしく成長する子供たちが楽しみです。

質問をすると、

教師「辺一つではどうだろう?」生徒「わからないです。」教師「そうだよな。これじゃガラス屋はびつたりのガラスは持ってきてくれないよな。じゃあどう伝えれば持つてきてくれるだろう?」

このようなやりとりの中で、具体的に三角形を黒板に書いてみるとうまく伝わらない理由がはつきりします。

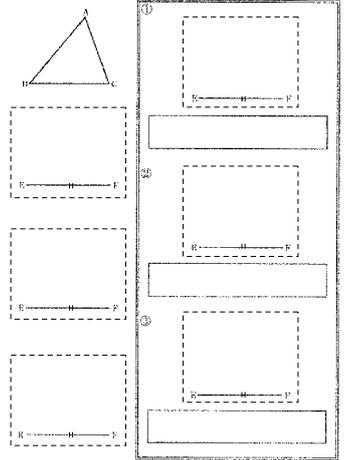
ここでさらに条件を追加しました。「三角形は辺三つと角三つでできているよね。もちろん全

て伝えられれば良いのだけれど……。時間的にこの中から三つしか伝えることができないんだ。」子供たちからは「強引だ。」という言葉が出ましたが、少ない条件で何を伝えればいいのか、

どの辺と角を伝えればいいのかということを考えさせたかったのです。何を求めればいいのかをコンパス・定規・分度器を駆使して書いてみようと思え、ワークシートを配布しました。



P93 三角形の合同条件
△ABCと合同な三角形を書いてみよう。



わかる授業 = 中学校の数学 =

合同条件を

ワークシートを使って

一人で挑戦!

予め知っている生徒は、持っている知識をもとに図を描いていますが、普段消極的な生徒も道具を使い、辺や角を求めて、どうすれば同じ三角形ができるだろうかと考え、「三辺がそれぞれ等しい」という条件をほとんどの生徒が求めることができました。

グループで考える

グループ学習をすることで、わからないことを気軽に質問

健康貯金はコツコツと

富士見台中学校校長 戸田 一也



電話のアラームが鳴り出した。あたりはまだ暗く、すごく寒い。もう四時五十分だ。温かい寝床には少し未練があるが、一気に立ち上がり着替えを始める。長そでのTシャツにジヤージと防寒の上下を着る。マフラーに軍手、毛糸の帽子をかぶって準備は完了。仕上げに反射テープのついたベストを着ると、怪しい風体だが、寒くまだ暗い冬の朝には一番の格好になる。

ドアを開けたとたん、冷たい空気に全身を包まれる。吸い込んだ朝の新鮮な空気が全身に活力を与えてくれるようだ。毎日の朝の散歩のスタートだ。まだ寝ぼけている頭がだんだんとさえてくる。三十分ぐらいすると、だんだん体も温まり、頭の中は歩くことだけに集中しはじめ何も考えず歩いていく。家に帰ると、頭のとっぺんからつま先までリフレッシュされて元気がいっぱいになる。

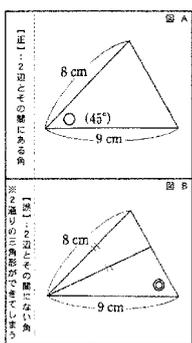
今日の健康貯金は約五キロ。一時間。メタボ対策で始めてだいぶたつが効果はなかなか表れない。しかし、確実に朝ご飯はおいしいし、爽やかに一日をスタートすることができ。今、学校では「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを生徒に話すことがよくある。夜型の生活になっている家庭も多いようであるが、子供たちが学校で元気に過ごすには、朝型の方がいいようである。規則正しい生活習慣づくりのために「早寝、早起き、朝ごはん」は、試してみる価値がある。元気になることだけは保証する。

ていけないのか不思議に思っています。大切なのは自分で考えた結果ということ。その間違いが理解をより確かなものにしてくれます。

答え合わせと合同条件のまとめ

ワークシートは、自分で考えて書く部分と教師の板書を書く部分に分けて書けるようにしています。大切なのは、自分で求めるという達成感です。それが、その後の学習意欲につながっていきます。また、答え合わせをすることで、どこが間違っていたかを知ることがもできます。

答え合わせ後、先ほどの「二辺とその間にない角」はどうして合同条件にならないのかを説明しました。この条件では、三角形が一つに決まらず、必ず合同になるわけではないのです。自分で作業したあとなので、理解はスムーズでした。しかも、間違った条件で図を描いていた生徒は、より深く理解できていました。こ



の作業の目的を達成できたと思えました。

効果と今後の課題

この授業後、三角形の合同条件を使った「証明」に取り組みましたが、ほとんどの生徒が合同条件をしっかりと覚えていました。成り立ちを理解できれば、それだけ知識の定着もはっきりしたのになります。「なぜ?」「どうして?」という部分、また、その後の反復練習も大切していきたいと思えます。

指導・講評

勝瀬中学校校長 栗原 健

今、子供たちの理数離れが課題となっています。今回の発表は、苦手意識を持ちながら証明単元の入り口である合同条件の意味と必要性を楽しみながら考えさせる実践として、新教育課程の数学の目標「(前中略)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断しようとする態度を育てる。」に合致した取組であり、生徒の真剣さや笑顔から「わかる」楽しさが「学ぶ」意欲へと繋がる実践と考えます。

みんなで一緒に本を楽しむ、穏やかな時間

富士見特別支援学校 学校図書整理員 木庭 恵

「とんとん、ぴっ！ これから本読みをは・じ・め・ま・す。れいっ！」と日直さんの元気な声。今日は何の本かなあと私が持つ本を覗き込む子供たち。「はい、こんにちは。今日は、ふくざわゆみこさんが描いてくれた『ぎょうれつのできるパンやさん』と日本の昔話『にんじんとごぼうとだいこん』を読みます。」いつもこんな風に読み聞かせが始まります。授業の始めや給食前の約十五分間に絵本や紙芝

居を読んでいます。季節感のある本や挿絵が魅力的な本、物の名まえが多く出てくる本、言葉のリズムを楽しめる本などを選びます。登場人物に成り切って声色を変えたり、感情に合わせて抑揚をつけたりして読み進めます。時には歌を入れることも。おもしろい場面では子供たちの笑い声。主人公が頑張っている場面ではみんなも真剣な顔。十五分間は、障害がある子供たちやみんなと一緒に取り組むことが苦手な子供たちにとつては長い時間です。最後まで集中して聞けるようになっていきます。お話の内容と実生活が結びつき、言葉の数が増えたり、感情表現が豊かになったりと、大きな成長がみられ、嬉しく思います。



読み聞かせは『耳からの読書』といわれています。人の声で伝えることでより温かな心のコミュニケーションが生まれ、やわらかな感性を育てるのだと感じています。子供たちと心を伝え合う、穏やかなやさしい時間です。

子と聲

水谷小学校 6年

川田 寛介

合唱『おそすぎないうちに』は、最初うまく音程がつかめなかったけれど、家で少し歌ってみたり、外でも口ずさんでみたりしました。そのためか「声が出るよ。」と言われて嬉しかったです。本番は一生懸命歌いました。自分の力を100%出し切ったという感じ

練習の成果が出た校内音楽会

でした。合奏『バイレーツオブカリビアン』は、初めて曲を聴いた時、難しいなと思いましたが、練習を重ねていく中で全部覚えました。本番でも間違えずに演奏できて、ほっとしました。家に帰ってからビデオを見ました。その時、家の人に「立派だったねえ。」とほめられました。中学校へ行ってからの音楽が楽しみです。



考える力

水谷東小学校保護者 金子 恵子

我が家には三人の子供がいます。性格もそれぞれ違い、家族ではありますが、別々の人間であるということを感じます。

しかし、三人とも同様に、よく「どっちでもいい。」や「何でもいい。」と言います。例えば、頂き物のお菓子を「どれがいい。」と聞けば、「どれでもいい。」「どっちにする。」と聞けば、「どっちでもいい。」それで

はと、しつこくどっちがいいか聞いてみると、「本当にどっちでもいい。」と言いつつ、好きな方を遠慮なく取っていたり、したいことをしたりしていたはずなのに。

また、勉強でも解らないとすぐ聞いてきます。一度解らないと思うと、それ以上考えようとしないのです。少し説明をしてあげると、簡単に答え

教育課題特集

生きる力を



を出してきます。
このような子供たちの言動は、日頃「あれをしなさい。」「これをしなさい。」と指示を出すばかりで、子供が何を思ったのか、何を言いたかったのかを、しっかりと聞いてあげられなかったからではないかと思ってしまう。私の言動が、子供の考えようとする力を奪っていたのではなにかと反省させられました。

生活の中で子供たちには、常にどうしたいのか、どれがよいのかという問いかけをしていき、自分の意見、意思を

考えて持てるように、そして、それをしっかりと他の人に伝えることができるようになってほしいと思います。



家庭教育

子どもと過ごす時間

勝瀬小学校保護者 羽石 貴裕



「おはよう」と必ず子供たちから声を掛けてくれる。

登校の準備も済み、わずかな時間を使って話をする。「忘れ物はないですね。」「昨日は誰と遊んだの?」など、聞きたいことや話したいことが山ほどあるのに言い切れないまま「行ってきまあす!」の声とともに一日が始まる。朝の数分間しかない時間で、「昨日どうしたのかなあ?」「今日

は大丈夫かなあ?」色々なことを考え想像しながら仕事に向かう。帰る頃には子供たちはすでに寝ていることが多いが、たまに早く帰ると「今日どうだった?」と聞く前に「あのね!」と、色んな話を話しかけて代わる代わる近寄ってくる。子供たちの楽しかった

ことの自慢話が始まり、誰かとどこかで遊んだこと、学校で見聞きしてきたこと、登下

校中のオモシロ話などが続く。また、「あのね!」がないと、「何か?」困っているサインに気がつかなかったのかと不安になったりもする。

仕事や家庭の都合から朝が早かったり夜が遅かったり、休みがなかったりで一緒に過ごせないお父さんやお母さんが少なくないはず。しかし、親と子がそれぞれの生活で「気づく」ことのできる時間を少しでも増やすことが大切だと思ふ。



響きわたる元気な声とひろがる笑顔

ふじみ野遊びーズコーディネーター 大島 博幸

「竹馬高くしてください!」「はいよ!」「一輪車のサドル調節お願いします!」「はいは!」毎月一回月曜日の放課後、ふじみ野小学校に子供たちと地域の方々の声が響きます。ふじみ野小学校区地域子ども教室「ふじみ野遊びーズ」です。

始まりは二〇〇七年度。ふじみ野小学校区の町会、自治会、民生委員、児童委員、保護者・教師の会、放課後児童クラブなど地域の子供にかかわる方々が、「地域子ども教室」の可能性を一年かけて話し合い、準備しました。その間「体験プログラム」実施、名称募集、保護者へのアンケートなどを行い、二〇〇八年度より「遊びーズ」として活動を始めました。

現在、在校児童の六〇%にあたる五〇〇名程が登録し、毎回二〇〇〜三〇〇名の子供たちが参加しています。

活動の内容は「自由遊び」。活動場所は校庭、体育館、図書室の三か所です。登録の子供たちはそれぞれ受付後に、

この場所です。思いっきり身体を動かしたり、異年齢で遊んだりします。

それを支えるのが、地域と保護者の方々と組織している「サポーター」です。毎回三〇名程の方々が、実施の一時間前に集合し、配置場所を決め、それぞれの場所です子供たちと一緒に活動を行っています。毎回元気な子供たちの声と、地域の方々の笑顔あふれる活動が続けられています。



学校 TODAY

特集

学校の様子を写真で紹介する「学校TODAY」。今回のテーマは「教育に関する3つの達成目標」です。

「教育に関する3つの達成目標」とは、「学力」「体力」「規律ある態度」の3つの分野で、それぞれの学年で確実に身に付けさせたい基礎的・基本的な事柄を目標としてあげたものです。

例えば、「規律ある態度」の目標として、「進んであいさつや返事をする」という目標があります。多くの学校であいさつや返事ができる子供たちを育てるために努力しています。

あいさつをはじめ、さまざまな取組の中で生き生きとした子供たちの声が響きわたる様子をご覧ください。

教育に関する3つの達成目標

つるせ台小



体力をつけて頑張るぞ

木曜日の朝、運動タイムに取り組んでいます。校庭が未完成で狭いため、校庭・体育館・オープンスペースの3つの場所に分かれ、それぞれの場所に合った運動をしています。

東中



美しい教室で落ち着いた生活

東中学校では、毎学期末に生活の様子を振り返り自己評価をしています。その反省を生かしロッカーの整理整頓キャンペーン等で意識を高め、美しい教室環境を保っています。



「あっくん・さっちゃん」がお出迎え

昇降口で子供たちを見守る「あっくん・さっちゃん」。あいさつ運動のシンボルキャラクターです。「あっくん・さっちゃん」のように笑顔であいさつ頑張ろう！



3年公民 公開授業 模擬裁判

学力向上を目指し、漢字や計算力のテストに取り組む他、全教科で研究授業を行って表現活動を取り入れ、発表する力が身に付いてきました。3年公民では模擬裁判を行いました。

|| 市教育相談研究室より ||

『長所の伸ばし方を考える』

最近の日本の子供たちの傾向として、自分に自信の無い子供が増えていると指摘されています。そして彼らの多くは、自分の長所に気付いていないとも言えます。そこで今回は、子供の長所の見つけ方やその伸ばし方について考えてみたいと思います。

一 子供の長所に気付くには

「どの子にも長所があり、大小たくさんのおよさも持っている」と信じて、子供を見ていくことが大切です。

そう信じて子供を見ていかないと短所ばかりが目が行くものです。

二 一つの価値観だけで見ない

「一つの価値観だけで子供を見ず、多角的に見る」ということです。

(例) 毎朝歯を磨いてから犬の世話をする子が、今朝は犬の世話を先にした場合、「歯を磨いてからでしょう」と叱るより、「昨夜は寒かったから心配だったのかな」と考えてあげ、「お前は優しい子だね」と認め、優しさに気付かせてあげることが優先する。

三 漠然と見ず、焦点を絞って見る

(例) 運動会の徒競走で順番だけを見るのではなく、どれだけ真剣に走っているのかを見て、「入賞出来なかったけどお前が一番腕を振っていたし、真剣だったよ。よく頑張ったね」と本人のよさに気付かせてあげる。

西
中



「年の始めは百人一首」

3学期始めは百人一首大会。日本古来の遊びを通してルールを守る心を養い、集中力をつけていく。なかなか良い伝統だと感じました。残していきたい取り組みの一つです。



「あいさつ運動の輪が広がっています」

やはり挨拶は大切ですね。通年でおこなっている「あいさつ運動」最近では有志であいさつの列に参加する生徒が増えてきています。心の輪が徐々に広がりつつあります。

富士見特別支援学校



リズムの時間〈小学部〉

週2回、子供たちは音楽に合わせて体を動かしています。「荷物列車」では、ジャンケンしながらみんなと仲良く活動しています。



朝の運動〈中学部〉

火曜から金曜の10時～10時30分の時間帯で行っています。音楽に合わせて、一人ひとりが目標の周数を決めて走っています。

ふじみ野小



「握力をつけよう！」

体育コーナーを作り、体力テストで課題となった種目を中心に、意欲的に取り組めるように工夫しています。いろいろな強度のハンドグリップに挑戦し、握力の向上をめざしています。



「元気におはよう」

児童会の取組として、あいさつ運動をしています。参加するクラスを募り、順番に正門に立ち、登校してくる友達を迎えます。元気なあいさつが響き、1日がスタートします。

四 いろいろな場面で見ると

家庭や学校、塾の場面だけではなく、公共の場などでの言動やマナーも見ると、

(例) 電車に乗る時に、降りる人を優先して乗車できたり、高齢者への思いやりを見せた時などに褒め、その優しさが長所であることを知らせる。

五 瞬間だけでなく継続的に見る

その子のよさに気付くには、瞬間、瞬間だけではなく、長期的、継続的に見る必要があります。

(例) 動植物の世話、毎日の手伝いや本人の様々な取組を観察する。

六 共働き、多く触れあいながら見る

家事などを親子一緒に取り組んで、その結果を共に分かち合う。

(例) 母子で新しい料理に挑戦し、父親にも食べてもらいながら、その子の得意な点を話してあげたりする。

七 周りの人々の力も借りて見る

子供が自らのよさに気付いていくためには、保護者を中心とした家族の協力なしでは成しえません。学校の先生方ももちろん、ご近所の方、ご親戚の方々の力を借りることも必要です。

それを実現させるためには、周囲の方々と日頃から保護者が良好な関係を結ぶよう努めていくことが大切です。

八 まとめ

自分のよさに気付けない子は大人から教えてもらうことで自信を持ち、未来に期待感を抱くようになるものです。

今日からは是非取り組んでみてください。

教育委員会だより

◎卒業おめでとうございます

今春、1,831名の皆さんが、市内の小・中・特別支援学校を卒業されます。保護者の皆様には、お子様の成長を振り返り、感慨もひとしおのことと思います。

卒業生の皆さんは、これまでの学校生活のできごとを思い出すとともに、新たな出発に向け夢や希望を膨らませているのではないのでしょうか。新しい生活においても、健康に留意し、充実した日々を送られることを期待しています。

在校生の皆さんは、この4月から1学年ずつ進級します。この1年間を振り返り、新たな目標を持って、これからも元気に学校生活を送りましょう。

◎平成22年度富士見市立小・中・特別支援学校入学式

期日 4月8日(木)

※2月5日現在

学校名	開式時刻	入学予定者数
鶴瀬小学校	午前10時30分	78名
水谷小学校	午前10時30分	89名
南畑小学校	午前10時20分	42名
関沢小学校	午前11時00分	96名
勝瀬小学校	午前10時40分	116名
水谷東小学校	午後1時30分	62名
諏訪小学校	午前10時50分	99名
みずほ台小学校	午前11時00分	99名
針ヶ谷小学校	午前10時45分	55名
ふじみ野小学校	午前10時45分	160名
つるせ台小学校	午前10時40分	92名
富士見特別支援学校	午前9時45分	14名
富士見台中学校	午前10時00分	198名
本郷中学校	午前10時05分	137名
東中学校	午前10時20分	93名
西中学校	午前10時00分	153名
勝瀬中学校	午後1時30分	295名
水谷中学校	午前10時00分	69名



ついこの間、入学したなあと思っていたら、もう三月。四月は、まだまだ幼さが残っていた児童たちだったが、この一年、ものすごい速さで成

の日までに班で協力し、一生懸命準備してきた。品物を机に並べて待つ児童たちからは、「売れるかな。ドキドキしてきたなあ。」の音があがる。この授業でのめあては、話

たちも、始まってみれば大きな声でお客を呼び込み、気持ちを込めて接客していた。その心が届いたのか、最後の感想発表のときには、六年生からたくさん良かった点を言っ

てもらい、児童たちは満足そうな笑顔だった。授業を終えた休み時間。児童たちから、「楽しかった。またしたい。」の音が聞こえてきた。緊張から解き放たれ、達成感に満ちた児童たちを見て、私は頼もしさを感じた。

長してきた。一月二十九日に、国語の授業としてお店屋さんごっこをした。お客さんは、縦割り班でお世話になっている六年二組のお兄さん、お姉さん。こ

をする。お客さんと呼び込み、挨拶をし、質問に答えながら品物を売る。「どんなことを聞かれるのだろう。」「ちやんと答えられるかな。」と少し不安な表情をしていた児童

ながら過ごした一年だった。誰かが失敗してもすぐ「ドンマイ。」の音が響く一年二組の児童たちと、もうすぐお別れかと思うと寂しいが、これからもずっと応援していきたい。

編集日記

昨日、雪が降りました。子供たちが、校庭で雪遊びをしています。

さて、前楽天監督、野村氏の著書『負けに不思議な負けなし』の中にこのような一節があります。『財を残すを下、仕事を残すを中、人を残すを上とする。』

また、ある研修会でこんな言葉に出会いました。

『一年の計は田を耕すにあり。十年の計は木を植うるにあり。百年の計は人を養うにあり。』

この二つの格言は意味するところは異なりますが、人を育てることの大切さと難しさを大変うまく言い表しているのではないだろうか。我々教職員の給料では財はなせませんし、教育という仕事は橋や道路建設のようになかなか目にも見えません。しかし人を残すことはできますし、これこそ我々の本業でしょう。また先日行われた鳩山首相の施政方針演説の中に7つの大罪という文言がありました。その中に『人格なき教育』という部分がありました。我々が心に留め置く言葉です。(保坂)